

児童発達支援事業所



2025. 1 月号

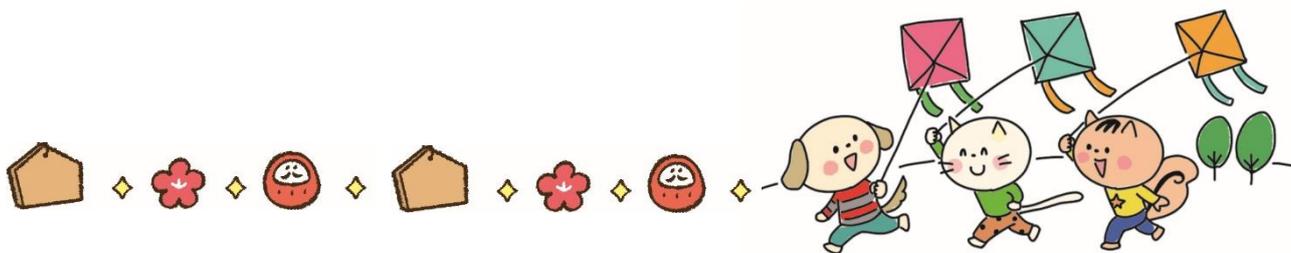
Eメール koroiba_mori@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <https://minnanomori.jp/jidoshien/korokoroiba/>

自分の思いを受けとめてもらえる安心感

ケーキ作りの日、ほしクラスの子たちはトッピングの材料を1つ話し合って決めました。子どもたちは事務所の職員にも「ポッキーかカラスプレー、どっちがいい？」と聞き、みんなの意見を聞きながら決めていこうとする姿がありました。最終的に、ポッキーかカラスプレーの二択になり、Aくんだけポッキーがいいという意見で、1つに決めきれず、「2つ買ってもいい？」とAくんが聞きに来てくれました。Aくんの自分の考えを伝えたという行動を受けとめ、「お金が足りたら2つ買ってもいいよ」と伝えました。実際に子どもたちと買い物に行き、「お金が足りたよ」と伝えると、嬉しそうなAくんでした。

自分の意見をみんなが聞いてくれた、叶えてくれたという経験が『自分の思いを言ってもいいんだ』『この人なら気持ちを受けとめてくれる』という安心感につながり、それが自分の意見を発信することへ繋がっていくと感じます。もちろん、自分の意見ばかりでなく友だちの意見を聞き、どのように折り合いをつけながら決めていくかということも大切です。その場面での約束事や友だちの意見など子どもたちと一緒に確認しながら、自分の思いや考えを発信できるような、安心感を持てる雰囲気づくりや関わりをしていきたいと思います。



「きょうのきゅうしょく」 展示を始めました

給食の見本を玄関に展示しています。連絡ノートに記載してある食事量と照らし合わせながら、「今日はどんな給食を食べたのかな？」とお子さんと一緒に見たり、この味付けなら食べられると保護者の方が発見したりする機会になればいいなと思います。

🌟たいよう🌟

< 散歩で体力作り >

今年は11月でも暑い日が多く、12月に入りやっと散歩に出ることができました。晴れた冬の日には冷たい空気が気持ちよく、公園に向かいながら四季の変化を楽しみます。

4月から繰り返し出かけた第4公園はしばらくお休みして、最近では第2公園にも足をのばしています。先日は少し遠回りで鴨江小学校の東側を通り第2公園に行ってきました。小学校が見えてくると「あ、ここはねえね（お姉ちゃん）がいるところだ」と言った子がいました。中学校に通っているお姉ちゃんがいるので、校舎が似ていたのでしょうか。小学校の校門を下ると坂道になっています。下り坂に慣れない子は速足でタタッと歩き、止まれなくなってしまいました。先頭を歩く担任が「ゆっくり歩こうね」と声をかけ、スピードを調節しながら進みました。日常の中でも様々な道を歩くことで、少しずつ筋力がついています。

第2公園には丸いどんぐりやシイの木があり、先月の制作で作ったお散歩バッグを片手に、散策を楽しみました。遊具もあるのですが、意外にも子どもたちはあまり遊びません。ここまで歩いた疲れを見せず、第2公園の広い広場を使って鬼ごっこなどかけっこをして楽しみました。少しずつ遠くの公園にもでかけ、長い距離を歩くことに挑戦していきたいと思います。

< 楽しいケーキ作り >

12月は楽しいイベントが多い季節ですね。ころころ伊場でもクリスマスバージョンのホットケーキを作りました。ほしクラスの友だちが材料を買ってきてくれるに行くことになっていたのので、この日は早めに朝の会を始め、ホットケーキのトッピングは何がいいかみんなで相談しました。チョコレート、イチゴ、バナナと3つの意見が出ましたが、バナナだったらたくさん買えるからいっぱい食べられるよ、と担任が言った一言でバナナに決まりました。給食のあとケーキ屋さんが開店し、自分の焼いたホットケーキに自分でトッピングして、おいしくいただきました！



☆ほし☆

< お友だちが作った段ボールバスを使って… >

併行通園児が多いほしクラスは、曜日によって登園する友だちががらっと変わり、それぞれのクラスの子どもの様子に合わせて活動を考え、楽しんでいます。木曜日では大きな段ボールを使って遠鉄バスを作り楽しんだ後に、他の曜日の子も使っていいよとにこにこルームに置いておいてくれました。段ボールバスがあるとは知らない子ども達は、登園するなり「なにこれ？」「バスがある！遊びたい！！」と、素敵なバスをみて目を輝かせ、すぐに支度を済ませて遊び始めました。自然と会話が弾み「どこに行きたいですか？」「次は〇〇ゆき～」と楽しんだり、途中で運転手が変わったり、座る席を交換したりしながらどんどん遊びが広がっていきました。会ったことがない友だちがいるかもしれませんが、遊びを通して作った子の思いを共有したり、自分で遊びを発展させたりする姿に子どもの発想は未知数だなあと温かい気持ちになりました。

< クリスマス製作 >

三角にくりぬかれた紙皿に毛糸を通していき、クリスマスツリーを作りました。毛糸を通す向きや対面の穴を通すなど、意識しなければいけないことがたくさんあります。毛糸も長くて引き抜くことに手惑う様子もありましたが、職員が丁寧について声をかけることで、やり方やコツをつかんでいき、自分で作り進められたり、通し方を間違えると自分でほどこいてやり直したり出来るようになり、長い時間集中して取り組みました。ビーズや金の星型の折り紙をかざっていき、素敵なものが完成しました。